（様式1）

学校番号	72	学校名	茨城県立下館工業高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
茨城県教育委員会規則

校訓

大志を抱いて努力せよ

学校の教育目標

・心身ともに健康で、豊かな人間性と主体性を育てる学校
・工業に関する知識・技術を身に付け、それらの学びを通して社会課題の解決に向き合い、次世代の産業発展に寄与する人財を育成する学校
・多岐にわたる生徒の希望進路を実現できる学校

生徒の実態

素直で純朴な性格を有する生徒が大半を占め、学習や部活動によく取り組んでいる。また、校内・校外の者を問わず、きちん挨拶することができている。
服装についても制服等を正しく着用することができる。授業中の態度については、座学、実習とも生き生き授業を受ける光景が見受けられる。
工業高校としては進学率が高く、毎年約30名の生徒が大学に進学している。専門性を生かした進路実現をめざしている。

保護者の願い

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、進んで平和的な国際社会に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養う。

道徳教育重点目標

・基本的生活習慣を確立させ、心身の調和のある生活の実現に努める。
・礼儀の意義を理解し、時と場合に応じた適切な言動をとる。
・勤労の意義を理解し、奉仕の精神をもち公共の福祉と社会の発展に寄与する。
・学校の一員としての自覚と責任をもち、良き信頼関係を築き、良い校風を築く。

地域の実態

本校は、筑西市をはじめとする工業団地に近く、恵まれた環境に位置している。各企業より活躍を嘱望され、期待も大きく、就職の求人倍率も高水準を維持している。

各教科・科目

国語	適切に表現したり的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにする。
地歴	我が国及び世界の形成の歴史や生活・文化の特色についての認識・理解を深め、国際社会に主体的に生きる民主的・平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。
数学	数学の概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
理科	自然に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度及び自然観を育てるとともに、それらを日常生活に積極的に活用する態度を育てる。
保体	健康・安全や運動についての理解と運動の実践をとおして、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力育成と体力向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
芸術	芸術の幅広い活動をとおして、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を養い、道徳性の基礎を培う。
外国語	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や相手の意向などを理解したり自分の考えなどを表現したりする実践的コミュニケーション能力を養う。
家庭	人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義と社会とのかかわりについて理解させるとともに、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。
情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。
総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成し、実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。また、探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
専門	基礎的基本的な知識と技術を習得させ、ものづくりに対する望ましい心構えや理念を身に付け、人間関係の形成や社会性、社会的なモラル、技術者としての倫理観の育成に努める。

特別活動

ホームルーム活動

計画的、発展的な指導のもとに各教科や特別活動など、教育活動全体を通して行われる道徳教育の補充・深化・統合を図る。
学級の一員としての自覚を高め、学校生活への適応を図るとともに、その充実と向上を目指す。集団活動を通して、心身の調和のとれた発達、個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
また、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。
地域や学校、生徒の実態等に応じて体験的な学習、問題解決的な学習を取り入れ、問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育てることにより、自己の在り方生き方を考える能力を養う。

公民科

公共

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

生徒指導

・基本的習慣を確立させるため、マナーアップ活動、あいさつ指導、服装指導を行う。
・共感的な人間関係づくりを図るとともに、生徒一人一人が目標を持って将来を展望し、自己実現を図れるよう支援する。
・社会のルールやマナーに気づき、自らを律する能力や態度を身に付けるため、学校の全教育活動において生徒支援を意識した取り組みを行う。
・「豊かな心」を育む教育活動と教職員の教育相談的対応を始めとする職能向上及び指導体制づくりを行う。

家庭との連携

PTA総会・学年PTA・三者面談等を通して、保護者との連絡体制を強固なものにする。
また、学校HP・生徒会新聞「志工」・PTA新聞を通し、学校における生徒の活動内容が、保護者の目に見える体制を確立する。
豊かな心を育成するための講演会・体験活動・奉仕活動を展開するにあたっては、積極的に地域社会やPTAに協力を依頼する。

地域社会との連携

生徒たちの「豊かな心」を育てるため、自然、社会、文化などに直接触れたり感動を覚えたりするような体験活動を組織的に展開する。
これらの活動の充実に向けて、家庭・地域社会・関係機関が互いの教育機能を理解し、信頼を深め、協力し合っていく協力体制を構築する。
地域に奉仕するクリーンアップ作戦による空き缶、ゴミ拾いを積極的に行う。
校外におけるボランティア活動への積極的参加や、地域主催のイベント・商工祭・生涯学習フェスティバルへの積極的参加を行う。